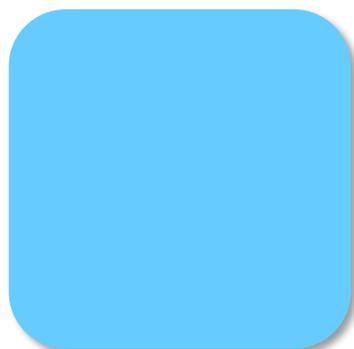
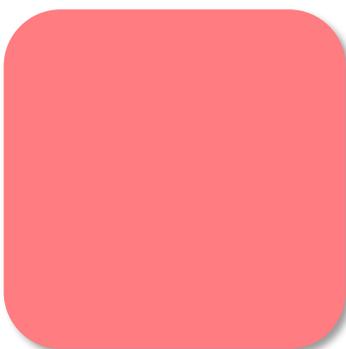
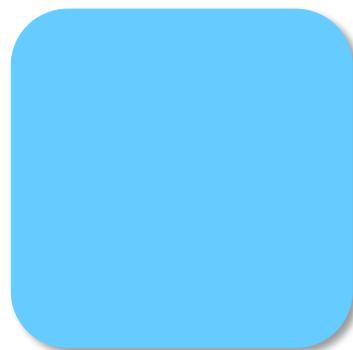


第8次総合計画策定のための
市民まちづくり会議
開催結果報告



2019年10月

刈谷市／市民まちづくり会議

目次

A 開催概要

| | |
|--------------|---|
| 1. 会議のねらい・概要 | 1 |
| 2. スケジュール・会場 | 1 |
| 3. 参加者 | 1 |
| 4. 検討テーマ・分野 | 1 |

B 結果概要

| | |
|----------------------------|----|
| I まちづくりの重点課題 | 2 |
| 1. 議論の経過 | 2 |
| 2. 今後10年のまちづくりの「重点課題」 | 3 |
| II 今後10年の具体的な施策・事業アイデア | 8 |
| 1. 議論の経過 | 8 |
| 2. 今後10年の具体的な「施策・事業アイデア」 | 9 |
| III 協働のまちづくりアイデア及びプロジェクト提案 | 22 |
| 1. 議論の経過 | 22 |
| 2. 私発！協働のまちづくりアイデア | 22 |
| 3. 協働プロジェクト提案 | 24 |

A

開催概要

1. 会議のねらい・概要

現在、刈谷市で進めている新しい第8次総合計画の策定に向けて、市民の皆さんと一緒に、「これから10年間の刈谷の暮らし」について、子育てや教育、福祉、防災、にぎわいなど様々なテーマについて生活者の視点で自由に話し合い、本会議で話し合った内容を踏まえて計画づくりを進めていくことを目的に、今後求められる具体的なまちづくりの取組について検討を行いました。

2. スケジュール・会場

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------|---|
| 1 | 6月22日(土) | オリエンテーション、専門家によるミニレクチャー、現状把握、今後10年の期待・不安の話し合い |
| 2 | 7月13日(土) | 今後10年のまちや暮らしの重点課題の検討 |
| 3 | 8月3日(土) | 今後10年の各分野における具体的な施策・事業アイデアの検討 |
| 4 | 8月24日(土) | |
| 5 | 9月14日(土) | 1～4回の内容のふりかえり、協働プロジェクトの提案 |

■時間：13：30～16：30の3時間

■会場：第1、4回 刈谷市社会教育センター（市民交流センター内）
第2、3、5回 中央生涯学習センター（総合文化センター内）

3. 参加者

32名（市民24名、職員8名）

4. 検討テーマ・分野

参加者が関心のある課題を踏まえて、総合計画全般について4つのテーマに分けてバランスよく議論しました。

| テーマ (グループ) | 検討する分野 |
|---------------|--------------------------------------|
| 都市基盤 | 市街地・住環境、道路・交通、公園・緑化、河川・池沼、上下水道 |
| 教育文化 | 学校教育、生涯学習・青少年育成、スポーツ、歴史文化・観光 |
| 産業環境 ・安全 | 農業、商工業、環境保全、防災、防犯・交通安全 |
| 福祉・協働 | 子育て、健康、地域福祉、高齢者福祉、障害児・者福祉、生活支援、共存・協働 |

B 結果概要

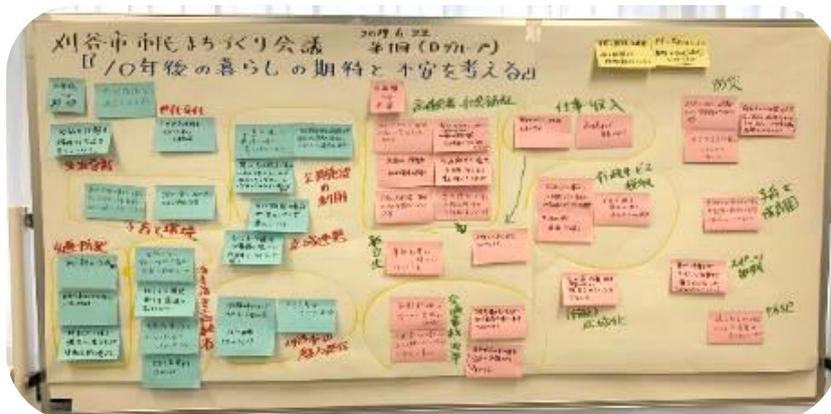
I まちづくりの重点課題

主に第1・2回会議の成果より

1. 議論の経過

第1回では、総合計画の専門家である四日市大学の小林先生から「総合計画とまちづくり」について学ぶとともに、刈谷市の現状や特性、市民等のまちづくり意識、これからのまちづくりの課題や方向性等について、「刈谷市総合計画基礎調査―かりやまちづくり白書―」を使って学習しました。それらを踏まえた上で、10年後の刈谷市の暮らしの「期待・長所」と「不安・短所」を議論しました。

第2回では、昨年度に「かりやまちづくり白書」でまとめた分野別の総括結果（主な実績・今後の展開方向）を学習した上で、テーマ別に、刈谷市の現況やこれから起こりうる状況をプラス面・マイナス面の両面から検討し、今後10年の課題について検討しました。第1回で出された「10年後の暮らしの不安」を改善・解決するために必要な課題が数多く出されるとともに、「10年後の暮らしの期待」を実現するために、現状の強みや特色を活かし、さらに魅力を高めるための課題も提案されました。



2. 今後 10 年のまちづくりの「重点課題」

(1) 都市基盤

| 基本施策 | これから 10 年の重点課題 | |
|-------------|----------------------|---|
| 市街地 ・住環境 | 中心市街地周辺地域の利便性の向上 | ・北部、南部地域の利便性向上 |
| | 先端企業の留置・誘致 | ・適切な環境整備（道路、工業用地、市内交通等） ・中心市街地における未利用地の高度利用（オフィス） |
| | 人口減少 | ・将来的な人口減少への対応 |
| | スマート IC、ハイウェイオアシスの活用 | ・北部はもとより市域全体に効果を波及させる ・商業施設の立地、公園機能の充実 ・ハイウェイオアシス、桜町以外の魅力的なスポットをつくる |
| | 土地の有効利用 | ・駐車場などの低利用地の有効活用 ・住宅地の確保 |
| | 災害に強い都市づくり | ・安心安全で強い都市づくり |
| | 高齢者が暮らしやすい環境づくり | ・バリアフリー対策（段差解消など） ・買い物難民の支援 |
| | インフラの適正化 | ・建設から管理へ、集中的な整備 |
| | 空き家の流通 | ・子育て世代の流出を空き家活用で解決できないか |
| 道路 ・交通 | 産業の振興と交通渋滞の緩和 | ・乗合の推奨、パーク＆ライド ・渋滞解消、道路の整備 ・駅や駅周辺の利便性向上、円滑な交通の確保 |
| | 高齢者等の交通弱者の移動支援 | ・リスクの周知、安心して免許を返せる社会 ・鉄道・バスなどの公共交通の維持と充実 ・公共交通の充実 |
| | 南北移動の利便性 | ・公共交通の利便性の向上。通過交通の抑制 ・名古屋岡崎線沿線の開発 |
| | 最新技術の活用 | ・AIやIoTなどの最新技術を監視システムやカーシェアリングなどに活用 ・移動手段などへの活用 |
| | 自転車の安全利用促進 | ・自転車道の整備、自転車ルールの教育 |
| 公園 ・緑化 | 公園の利活用 | ・公園や広場の整備や運用の見直し ・高齢者と子どもなど多世代が楽しめる催しを企画 |
| 河川 ・池沼 | 河川空間の活用 | ・防災にも活用できるBBQ施設の整備 |
| 上下水道 | 安心できる水 | ・安心でおいしい水 |

(2) 教育文化

| 基本施策 | これから 10 年の重点課題 | |
|-------------------|---------------------------------|--|
| 学校教育 | いじめ・不登校 教員の負担軽減 | <ul style="list-style-type: none"> 学校だけではなく家庭・地域との連携体制が必要 教員が担う業務を減らす学校の小規模化 部活動時における外部指導者の導入拡大 教員の働き方改革 |
| | 刈谷らしい 学校教育 | <ul style="list-style-type: none"> 刈谷ならではの教育・授業（英才教育）の充実 |
| | 学校施設 | <ul style="list-style-type: none"> 地域にもっと開放できる施設の管理・運営（体育館など） |
| | 多国籍化への対応 | <ul style="list-style-type: none"> 語学面、生活面でのサポート強化、多言語対応 |
| | 特別支援 | <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校の支援体制の充実、普通学級との交流促進 障害者教育について相談窓口の充実 |
| | 学校と地域の連携 | <ul style="list-style-type: none"> 地域と触れ合う、地域の人に学校で教えてもらう機会づくり 地域の文化、スポーツ活動を部活動の代替に活用 開かれた学校づくり 大人が子どもに過干渉せずに見守る風土、仕組みづくり |
| | ICT・AL（アクティブラーニング）・PBL（課題解決型学習） | <ul style="list-style-type: none"> 学生主体の学校運営で実現する喜びを与えるような教育変革 愛教大中心に運営する学びの場の創出、拡大 情報化への対応 |
| 生涯学習 青少年 育成 | 生涯教育の 充実・発信 | <ul style="list-style-type: none"> 知識や技能を教えてくれる人材の発掘 「あいかり」アプリの普及・活用 市民だよりだけではなくターゲットを絞った情報発信 若者向け・子育て世代向けの大きなイベントの開催 高齢者へのイベントの声掛けなどによる外出の誘発 個人の技術・経験生かして活躍できる場所・機会の充実 縦割りではなく「生涯教育」として統括 学校外の遊び場、子どもの活動場所づくり 児童生徒の提案を実現し「私達がつくるまち」を実感させる 子どものキャリア教育の充実 |
| | 食育 | <ul style="list-style-type: none"> 地産地消を推進するための食育の場 |
| | 施設活用・促進 | <ul style="list-style-type: none"> AI など新技術への対応 刈谷ハイウェイオアシス・交通児童遊園等での学習施設整備 ものづくり・学びをテーマにした施設・運営づくり 刈谷市発信の学習・ワークショップのレベルアップ ニーズ（世代別）を想定したサービス提供 |
| スポーツ | スポーツを通じた まちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 新たなスポーツビジネス、スポーツホスピタリティ 地域のスポーツ活動の活性化 |
| | スポーツに対応 できる環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> 多様なスポーツに対応できる施設（アリーナ）の整備 |
| 歴史文化 ・観光 | 歴史博物館の活用 | <ul style="list-style-type: none"> 教育に生かす、親しんでもらえる展示の充実 |

(3) 産業環境・安全

| 基本施策 | これから 10 年の重点課題 | |
|------|----------------|--|
| 農業 | 担い手の確保・負担軽減 | <ul style="list-style-type: none"> ・就農希望者の受け入れ体勢や賃金（待遇）が十分でない ・シニアをはじめ市民が新たに農業に取り組んだり、農に親しんだりできる公的（民営）機関を立ち上げ、農業の入り口を整備する必要がある（子どもへの食育の視点を含む） ・元気な高齢者（定年退職者層）を対象とした農業の後継者の確保、育成 ・農業に未来技術を導入による農家の負担の軽減 |
| | 特産品ブランド化 | <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷で作った農産物の売り場や販売に対する支援が必要 ・すいか、切り干し大根など特産品の生産の維持や PR 強化 |
| | 食育（地産地消） | <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を推進するための食育の場が必要 |
| 商工業 | 商工業の衰退 | <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりについての技術、技能の継承 |
| | 消費活動の停滞 | <ul style="list-style-type: none"> ・各々の価値観や考え方を認め合い、多様化する消費活動を受け入れ、楽しく暮らせる社会をつくる必要がある |
| | 商店街 | <ul style="list-style-type: none"> ・商店街に特色を持たせることが重要 ・新たな店舗や事業（起業）の創出の場づくり |
| 環境保全 | ごみ | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ捨てるルールを守り、ごみ放置を防ぐ工夫 |
| | 空き家の流通 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の市外への流出を空き家活用などで解決することが求められる |
| 防災 | 災害 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に取るべき行動、対応を目に見える形（マニュアル化） ・いざという時に備えた、自給自足の意識啓発 ・避難所生活の疑似体験を実施 ・これまでの広報・災害情報発信の見直し、迅速な動き（自助）ができる仕組みづくり |
| 交通安全 | 交通安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・渋滞箇所、交通事故などの危険個所の改善 ・子どもへの交通安全に対する啓発や地域での取組が必要 ・職場から駐車場の遠さを解消 ・駐車場の出入りについて歩行者（特に子ども）の安全確保 ・買い物や通院等の日常生活の移動手段の確保 ・サイクリング、ランニングなどによる通勤を広める |

(4) 福祉・協働

| 基本施策 | これから 10 年の重点課題 | |
|---------|----------------|--|
| 子育て | 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・共働き世帯支援（子どもと向き合う時間を大切にすることに親へのアプローチ） ・一人親世帯の就労支援及び相談支援NPOの紹介 ・子育てサービスの情報提供（サービス水準・量の情報） ・必要な人に支援が届くような情報提供 ・不妊治療への支援 ・子ども会など持続できる形で子育てしやすい環境づくり ・保育士の確保 ・子育ての広域連携（各都市が特色を出して相互に利用） |
| 健康 | 健康づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・健康意識を持ち続けられるように健康づくりに主体的に取り組むことができる場を増やす |
| 地域福祉 | 交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・誰にも相談できずに、個別・孤独になりがちな親、老人等の交流の仕組みづくり |
| 高齢者福祉 | 元気なシニア層の活動の場 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多様な働く場や働き方ができる機会が必要 ・高齢者の意欲を高めるためには移動手段の確保が重要 |
| | 生活の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で自立した生活ができるために家族と地域とのつながりが必要 ・在宅での生活に必要なサービスの充実が必要 ・要介護者や外国人の増加に対応した介護保険システムの適正化（サービスの適正利用）と介護予防の充実 ・高齢者の増加と介護現場の働き手の減少に対応するロボットの活用（無理のない働き方を支援） ・多死社会における最後の迎え方の啓もう |
| 障害児・者福祉 | 働く場 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害の就労機会を増やすために、障害のある人への理解の促進が必要 ・障害者の親の高齢化問題への対応：相談しやすい窓口、仕組み、人材が必要 |
| | 相談できる場所 | |
| 共存・協働 | 多文化共生 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒への学習支援（多言語対応） ・多文化共生への理解（お互いの国を理解し合う） ・生活ルール、マナー等の多言語表示化 ・福祉をはじめ、様々な面での外国人対応が必要 |
| | 協働の仕組み | <ul style="list-style-type: none"> ・若者、子育て世代の声が市政に反映できる仕組みづくり ・元気な高齢者を活用して地域の担い手として育成する持続可能な仕組みづくり「刈谷版盛人大学」（埼玉県川口市の事例） ・市民活動活性化のために地域貢献活動に対する減税策 |

| | | |
|-------------------|------------|--|
| 共存 ・協働 | 世代間交流 | <ul style="list-style-type: none"> • 世代を超えて関われるコミュニティの形成が必要 • 好きな時に好きなだけ参加できる参加しやすい仕組み |
| | 人材育成・活用 | <ul style="list-style-type: none"> • ニーズのあるスキルを教育、発揮する場が必要（労働の付加価値を高める） • 労働人口（昼間人口）の有効活用するための人材バンク • 既存施設（夜間の学校施設）を有効活用して人材が活躍できる場をつくる |
| | 子どものキャリア教育 | <ul style="list-style-type: none"> • なぜ働くのか、どんな仕事で自分を生かせるかを考えさせる子どものキャリア教育が必要 • 子どもの地域での活動を教育の場とするとともに、子どもの視点から地域を見る機会とする |

Ⅱ 今後 10 年の具体的な施策・事業アイデア

主に第3・4回会議の成果より

1. 議論の経過

第3回では、第2回で検討した「刈谷市の今後10年の重点課題」の解決に向けて、各テーマでどんな施策・事業に取り組んでいく必要があるのか、その具体的なアイデアについて検討しました。なお、取り上げる重点課題における対象者（ペルソナ）を明確に意識してアイデア出ししてもらうことで、生活者目線からの具体的な施策・事業アイデアが数多く出されました。

第4回では、第3回会議で検討した今後のまちづくりのアイデアの実現にむけて、様々な担い手と協働で取り組むべき事業・活動について話し合いました。施策・事業アイデアの中から、個人や家庭、地域、市民団体・NPO、事業所など、様々な担い手と協働で取り組むべき事業・活動について、具体的に想定される「担い手」と、その担い手に期待される役割や取組・活動内容について検討を行いました。



2. 今後 10 年の具体的な「施策・事業アイデア」

(1) 都市基盤

①市街地・住環境

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|-----------------------|---|
| 駅広場構造の見直し | ・刈谷駅北口バス乗場とタクシー乗場を2階へ立体化 |
| 駐車場など低利用地の有効活用 | ・駐車場を活用した仮設店舗によるチャレンジショップ ・空き家を活用して、段階的に店舗秀致を進めて経営リスク回避 |
| インフラの適正化 | ・築10年程度新設の建物を中止、既存建物の120%活用 |
| スマート IC、 ハイウェイオアシス | ・雨天時に活用できる公園や遊具の充実 ・周辺地域の開発要件の緩和（法整備）と営利目的施設の公園内設置 ・商業機能の拡充（アウトドアブランドとのコラボ） ・HWOで食材購入、キャンプ、グランピング、BBQ ・刈谷ハイウェイオアシス北側（臨時駐車場）への商業施設や公園機能の充実 |
| スタートアップ支援 企業誘致 | ・刈谷市中心部にスタートアップ用のシェアオフィスを整備 ・周辺環境と調和した産業用地の創出（幹線道路、IC周辺など） ・商工会議所とのコラボによる新事業創出のPR、市の助成 |
| 土地の有効活用 | ・遊休地を活用したBBQインフラ作り、河川や公園整備での火気の使用やごみ問題の解消 |
| 周辺地域の利便性向上 | ・バスのネットワーク化（ピストン、周回） |
| 空き家の活用 | ・空き家購入時の補助、空き家改修費の補助 ・空き家を活用し、託児所などを設置 ・空き家・空き地スペースを公園に有効活用 ・所有権の放棄に関する法整備 ・空き家を出資金の代わりにして管理会社設置 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・ハイウェイオアシスの商業施設を情報発信拠点としてプロモーションで連携
- ・企業OBの技術者が指導者となり、屋内施設での子どもの遊び場の提供と、発明クラブなどでのづくりを教える
- ・土地所有者に、駐車場などの私有地（中心市街地）をマンションや商業施設など、有効に活用することを働き掛ける
- ・家を探している子育て世代に、空き家の情報をわかりやすく提供して有効活用を促す
- ・建築士協会が主体となり、空き家のリノベーションによる新たな価値を創造する

②道路・交通

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|---------------|--|
| 幹線道路整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・井ヶ谷中手線、名古屋岡崎線沿線の整備 ・衣浦豊田道のような有料バイパスを整備 ・区画整理してメインの道路を増設 ・市中心部の南北軸の拡幅 |
| 自転車の利用促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・自転車で移動しやすい道の整備（坂をなくす、道幅を広くする） ・電動自転車購入費用補助 |
| 最新技術の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池バスの導入 ・リアルタイム交通（信号制御） ・自動運転によるバス・タクシーなど新技術の積極的な実験協力 ・自動運転やMaaSなど次世代モビリティサービスの構築を検討 |
| 交通バリアフリー | <ul style="list-style-type: none"> ・バスが歩道に近接できるように設計を工夫 |
| 列車の増便・新設 | <ul style="list-style-type: none"> ・平日朝、三河線、知立・刈谷市間の列車増発定期化 ・鉄道新設（刈谷駅～池田町～運動公園～オアシス～愛教大～桜通） |
| 南北移動の利便性、渋滞緩和 | <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地内への乗り入れ規制（パーク&ライド） ・バス高速輸送システム（BRT）の導入 ・企業バスと路線バスの統合・連携 ・名鉄バス「刈谷愛教大線」平日昼間および土休日の値下げ ・総合運動公園のイベント時は路線バスの増便で対応 ・名鉄バス「刈谷愛教大線」の刈谷ハイウェイオアシスへの乗り入れ |
| 交通弱者、高齢者の移動支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向けカーシェアリング（乗り合わせ） ・AIやIOTを活用した見回り支援・買い物支援 ・免許返納者への敬老バス交付 ・各種施設複合化（病院、スーパー、福祉施設、カルチャースクール等） ・買物の宅配サービス、カートごとバスや電車に乗れるようにする ・公共交通の有料化（事前登録制）と無料対象者の絞り込み |
| 若者の移動しやすさ | <ul style="list-style-type: none"> ・若者の公共交通の利用促進 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・市民・事業所によるバスの積極的な利用促進
- ・VRなどを活用して、バスに乗る楽しさを演出
- ・従業員の移動実態などのデータを行政に提供（需要予測など）
- ・パーク&ライドに協力した社員に企業からキャッシュバック
- ・企業バスの一般開放
- ・事業所と共同のバス事業の展開（市から事業所への補助金）
- ・自動車学校、老人福祉センターのバスを活用し、高齢者対象に運用
- ・バスの運転士を、シルバー人材センターやスクールバス運転士に協力依頼
- ・自家用車のシェア（買い物などにも活用）
- ・民間企業による、サイクリングロードの整備やネットワーク化、管理を依頼
- ・企業スポーツと連携し、市内各所に拠点を増やし乗り捨てできるレンタサイクルを整備

③公園・緑化

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|--------------|--|
| 公園の利活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を味わうイベントの開催 ・生産者と消費者のつながりを目指した地産地消カフェの開設 ・青空音楽フェスティバルの開催 ・刈谷駅北・刈谷市駅周辺に、賑わいの拠点となる全天候型野外広場の整備 |
| 公園整備、ネットワーク化 | <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が整備されている公園の遊具の最新化 ・支援センターや児童センター、福祉センター等と隣接する場所での公園整備 ・「すすく丘」「うららん」のような乳幼児が安全に遊べる公園整備 ・ミササガパーク、交通公園の間に駐車場を作り一体化 |
| 公園緑化 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園の中央広場に植樹して、防災時は木々の間にテント設置 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・市民が積極的に公園を利用し、スポーツや森林浴などを楽しむ健康づくり
- ・企業による施設整備、管理、ビジネスに活用、ネーミングライツなどによる協力
- ・ワークショップ等への市民参加、用地提供
- ・企業スポーツチームの試合時に公園内において、地元商業者の出店や宣伝を許可し、商業を活性化
- ・市民、地域、団体、NPO、事業所などの多様な主体に公園や道路の清掃を依頼
- ・各町内会による公園の清掃、花植え、植樹

④河川・池沼

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|---------|--|
| 河川空間の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・水位上昇時に人が近づかないよう安全管理の強化 ・河川堤を活用した自転車道などの縦貫道の整備 ・河川敷に、手ぶらで利用できるBBQ場を開設。民間事業者管理運営を依頼し、災害時には防災拠点として活用 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・（とくになし）

(2) 教育文化

① 学校教育

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|----------------|---|
| 学校施設の充実 ICT | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の中にベンチャーなどの企業を入れて空き教室等を有効活用 ・放課後の児童の遊び場として学校施設を開放 ・タブレットの学校現場への導入 |
| 刈谷らしい教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流プログラムの実施（小中高地域一貫） ・学区内の事業所で職場訪問、体験を実施 ・言語だけではなく、多文化理解なども学校風土に取り入れる ・外国人児童、生徒を支援する特別学級の設置 |
| 学校と地域の連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生による主体的なまちづくり事業の支援 ・様々な分野でのスペシャリストから話を聞く講座 ・学校行事を地元企業・事務所とタイアップ ・部活動と地域スポーツクラブの共同運営（顧問の負担軽減） ・BBQ やキャンプを通して多世代の地域住民と交流 ・地域のパトロール隊、老人クラブ等、学校とコラボ先を人材バンクでマッチングして部活や授業を支援、コミュニケーションを活性化 |
| AL、PBL の導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どものアイデアを実現して喜びを感じられる学校へ（学校を子どもの意見を取り入れて運営） ・アクティブラーニング（AL）、問題解決型学習（PBL）の導入 |
| 教員の負担軽減 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員の働き方改革 ・部活動の外部指導者の活用、総合型地域スポーツクラブと協力 ・刈谷市をホームタウンとする企業スポーツチームに所属するトップアスリート（OBを含む）を外部指導者として活用 ・市民スポーツチームとのコラボレーション |
| 特別支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害児教育の専門的知識を有する特別支援学級の職員が、他の小中学校を巡回指導したり助言を行う体制づくり、ネットワーク強化 ・NPO などによる外国人支援の相談窓口を運営委託 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・企業OBなどの協力や企業、大学の連携で指導者人材の確保
- ・地域住民や各種団体が授業補助や地域学習等の体験活動を支援、コミュニティ形成
- ・愛教大の専門性やノウハウ、学生のマンパワーを活かした学校の支援
- ・地元企業による職場訪問の受け入れや外部講師、イベントの支援
- ・企業スポーツチームの選手等が部活動の外部指導者として協力
- ・学校体育館を指定管理者にゆだね、平日の空き時間も地域に開放（有料）、空き教室を貸し出すなどして収益を得る
- ・専門性の高いNPO等と連携して、様々なプログラムづくり

- ・総合型地域スポーツクラブの指導員と協力して、部活動との連携を図る
- ・老人クラブや町内会などが外国人の子どもの支援を行い、子どもを入り口にして親とも交流を持ってコミュニティの連携を強化
- ・自治会・NPO が、地域で若者が力を発揮して活動体験する場を作り、市政への若者の関心 UP
- ・教員経験者などを募り、ものづくり施設や学校の調理室などを利用して、子供の居場所をつくる

②生涯学習

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|----------------|---|
| 多世代交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代の交流を図るワークショップの開催 ・若者の特技をシニア世代に教える講座（例：スマホの使い方） |
| 個人の技術・経験の活用・伝承 | <ul style="list-style-type: none"> ・知識だけでなく様々な経験を育てる場づくり ・市民講和による市民大学の仕組みづくり |
| 「ものづくり」をテーマ | <ul style="list-style-type: none"> ・ハイウェイオアシスに「学び」+「ものづくり」の施設整備 ・ものづくりと遊びをテーマにした生涯学習施設 ・3Dプリンターやレーザー加工機を気軽に使える施設 ・使い方の動画、施設の使用例のレポート |
| 情報提供 ・申込方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・各施設のイベント・企画の情報を集約し、気軽に申込できる生涯学習の専用HPや専門窓口（ブッキングセンター）の設置 ・紙媒体（あいち、市民だより）やweb媒体の充実（FB、Twitter、instagram） ・各種ボランティア団体や市民団体の組織・活動をわかりやすく提供 ・利用者の世代・対象者・嗜好などを継続して管理し、システム化して運営する |
| 多国籍化への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・語学指導員の増員やAIを使った音声翻訳機「ポケットク」の活用 ・日本語教育や保護者対応のできる人材確保・育成 |
| 青少年の健全育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・所属の違う生徒・学生をチームにする ・学生のまちづくり事業への支援 ・若者が地域などで活動する場をつくる |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・大学、企業等の専門的な知識を有する人の協力で、先端のものづく知識、技術を施設づくりや運営に活用（3Dプリンター、レーザーカッター、ロボットへの協力）
- ・民間企業に、各施設情報（貸会議室や貸コートなど）やイベントの参加申し込みが一元的にできるシステムの運営を委託

③スポーツ

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|-----------|--|
| スポーツの環境整備 | <ul style="list-style-type: none">・刈谷市体育館の長寿命化・スポーツ興行と地元商業との連携・総合運動公園の北側拡張・スポーツ施設の集約による充実 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・民間ディベロッパーに提案してもらい、岩ヶ池での水を活用したスポーツによるまちづくりと商業施設との融合を目指した開発

④歴史文化・観光

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|-----------|--|
| 郷土理解 | ・小中学校の授業での歴史博物館の活用（例：見学を必須にする） |
| 体験型 | <ul style="list-style-type: none">・刈谷の歴史文化を体験、体感できる展示、活用の工夫でリピーター増・市内の歴史箇所を回るバスツアーの企画運営 |
| 移動手段の充実 | ・市内巡回バスの整備と観光ルート整備（多くの観光客の利用見込める） |
| 外国人のおもてなし | ・外国人市民による外国人のおもてなし体制づくり |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・歴史ボランティアを放課後活動に派遣して子どもたちに指導するとともに、博物館の企画展や運営に参加
- ・埋もれている刈谷の魅力や資産を市民から募り、冊子としてとりまとめる
- ・企業に協力してもらい、週末に企業内の展示施設を開放

(3) 産業環境・安全

① 農業

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|----------|--|
| 食と農 | <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全につながる「農業地図」を作成する ・刈谷市では年中、安心安全な食べ物がある状態をつくる（無農薬や無化肥の農家に対する補助金を出すなど） ・こだわりの食材の販路をつくり、マルシェなどの販売の場所や給食への提供を支援 ・農業に関する相談窓口の設置や専門家の紹介などを行う、農業アドバイザーを配置 ・遊休農地を活用して市民農園を活性化させる |
| 農業の入り口支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域単位で田植え体験させてくれる農家を募集し、農業体験の機会を提供 ・親子対象の日帰り農業体験ツアーを企画・開催し、食べ物を育て、収穫し、食べることを通し食育を進める |
| 農家の負担軽減 | <ul style="list-style-type: none"> ・未来技術を導入し、精密性を高めたり、ビッグデータやドローンを活用したりする実証実験を推進 |
| ブランド化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを絞りながら、農産物のブランド化をすすめる ・カリヤカリ、カリヤカラアゲ等、刈谷ブランドのグルメを開発 ・特産品を使用した料理コンテスト、商品開発を企画 ・碧海地区の特産品を扱うレストラン・コンビニを立ち上げ展開（その際、かっこいいネーミングとユニフォームは重要） |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・食に関心のあるグループや農業したい人（お母さん・学生さん）が農地を使って耕作し、自分が食べるものは自分でつくる
- ・学生が、地元産物を活用した料理など、新ブランドのアイデアを出し、広報・PRを行う
- ・管理栄養士（献立をつくる人）が地元の食をもっと知り、生産現場に見に行く、聞き取りに行くことで、安全な食材を給食に提供
- ・地元農協が材料供給や店舗運営を行い、地元5市が出資する会社を立ち上げ、ビジネスプランのデザインやマーケティングをおこない、地域経済の活性化につなげる
- ・市民農園の取組を活性化するため、市では土地所有者の理解を高め、農家は市民に対する農の指導を行い、民間企業は農業ファンのためのアプリを開発
- ・食に関心のあるグループが、農家に対する聞き取りなどを行い、SNSなどで情報発信を行う
- ・体力の限界などで営農が困難な農家を市民が手伝い、農業を体験して知るだけでなく、食育の大切さを学ぶ

②商工業

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|-----------|--|
| 新事業の場づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅周辺に机、イス、ホワイトボードがあるフリースペースを用意し、気軽に来てもらって仲間が集い、そこから新たな事業の創出を生み出す ・刈谷市中心部にスタートアップ用のシェアオフィスを開設 |
| 商業の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共施設（屋内の大空間）を利用してマルシェを開催するとともに、駅前、文化センター、産業振興センターなどの公共施設への店舗の出店を支援する ・商店街の空き店舗を活用して子ども食堂を開設、運営する ・コスプレイベントやバスケットボール、バレーボール、ソフトボールなど実業団によるスポーツとの連携により、中心市街地の賑わいを高める |
| 商工業の跡継ぎ問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・後継者のいない事業者と買収による拡大・展開をもくろむ事業者とのコーディネートにより、技術や事業の承継を支援 ・自動車製造業関連のOBを活用して、寺子屋的な工作等の体験の場を提供 |
| 技術技能の継承 | <ul style="list-style-type: none"> ・大手企業による“ものづくりは人づくり”の講座・相談会を開設 ・中小企業を対象にした技術・技能の指導（例：企業内の4S指導など） |
| 企業誘致 | <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路沿道やIC周辺などに、環境と調和した産業用地を創出 ・商工会議所とのコラボによる企業立地PRや市の助成などにより誘致を推進 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・実業団・特有の会社がスポーツ実業団のノベルティを販売し、商店街でしか買えないようにする
- ・ホームタウンパートナーチームが選手のお気に入りの店を紹介し、ファンが集まり、にぎわいや活性化につなげる
- ・事業所が、ものづくりの原点である「ムダと仕事を具体事例」の講座を開催し、社会人、学生、子どもに対してそれぞれのレベルで実施し、企業PRのアウトリーチ活動につなげる
- ・企業と行政が連携し、市内にある技術系の事業所の見学ツアーを企画、運営
- ・刈谷ハイウェイオアシスでものづくり体験教育の施設を整備
- ・商工会議所等が駅に刈谷で事業をしたい人向けのチャレンジショップを開設
- ・商店街連合会と連携し、コスプレした人には10%割引するなどして、消費を活性化させる

③環境保全

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|--------|--|
| ごみ | ・市を挙げてフードロス対策を推進 ・公園にミニごみ裁断機を設置するなどして、地域レベルでごみの減量化に取り組む |
| 渋滞緩和 | ・駐車場を市内事業所等でシェアできるようにして、貸出自転車を設置することで、市民が通勤などに自由に使い、交通渋滞や温室効果ガスの排出を減らす |
| 空家 | ・空家バンクに掲載している物件を購入した市民に補助金を交付 |
| 空き家の活用 | ・空家購入時の補助や空家改修費の補助を行い、市内の空家に子育て世代に住んでもらう ・婚活・子育て特区として、結婚しやすい、子育てしやすいまちにする |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・飲食店が食べ残しを気軽に持ち帰れるようにする
- ・飲食店や市民活動団体が協力して、賞味期限直前の食べ物をこども食堂などで食べられるようにする

④防災

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|-----------|--|
| 実践的な訓練・体験 | ・一泊二日での避難所を体験できる防災訓練をする。具体的には、近くの小学校で避難所所属訓練をし、星空観察会や朝の炊き出し、テント生活などを体験する ・抜き打ちでの防災、避難訓練を実施 ・マルシェ等のイベント開催を合わせて防災訓練を実施 |
| 自助、意識啓発 | ・東日本大震災の経験者を呼んで語ってもらう講演会を開催する ・いざという時に頼りになるリーダー人材を養成 ・一人ひとりが行動できるような自主防災組織をつくる |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・子どもがダンボールで避難生活を体験し、新聞紙でスリッパをつくるなど、楽しく防災に対する意識付けを行う
- ・地区の防災訓練を企画する際、縁日やスタンプラリーなど子どもが参加しやすい仕掛けを工夫し、楽しみながら地域のすそ野を広げる
- ・レクリエーション協議会が楽しい訓練体験を企画する
- ・市が開催する連続講座の一環で、防災意識と知識を高める講座をテーマ別、曜日別などで多くの市民が参加する

⑤交通安全

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|----------|------------------------------|
| 交通安全 | ・押しボタン式の信号を導入し安全確保に努める |
| 歩行者の安全確保 | ・歩道の交差点に鋼製ポールを設置し、不慮の事故を抑制する |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・企業が自家用車で通勤する従業員に対し、生活道路の通り抜け規制を徹底

(4) 福祉・協働

① 子育て

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|-------------|---|
| 保育士の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格を持っている人の希望する就労時間帯を調査して、短時間でも働ける人を活用 ・元気なシニア層や有償ボランティアを活用して現場の保育士の仕事を軽減 |
| 仕事と子育ての両立支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親の働き口や支援する NPO の紹介 ・子どもの送迎サービス：保育園、習い事などを横断した送迎バス、GPS で子どもの移動ルートを把握して最適な移動サービスを提供、子育て層ターゲットとしたタクシー ・情報発信の工夫（子育て総合相談窓口、支援センター、産院・健診でチラシ配布、SNS） |
| 子ども食堂・カフェ | <ul style="list-style-type: none"> ・食べる人と作りたい人（フリーランス料理人等）をマッチングする親子食堂 ・子ども食堂の発展：地域の食堂・マルシェで世代間交流 |
| 不妊治療支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療費用の補助 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・主婦・NPO・農業者が協力して、農業を通じて不登校の子がひきこもらず、自分らしく生きていくための居場所をつくる
- ・親が食堂で仕事しながら、その子どもも参加する子ども食堂を運営
- ・既存の食堂経営者や新規出店を考えている人に週、月替わりで場所を提供してもらい、子ども食堂を運営
- ・高齢者・親子・自治会・地域が中心になって、子どもがおもてなしをする機会を体験（教育）して外出する高齢者を増やす。またシニアの活動の場（何かを教える）とする
- ・市内の民間事業所で1日子ども店長などの体験の場を提供（キッズニアの刈谷版）
- ・スイミングスクールのバスを活用して、保育園・学童保育の子どもを送迎

② 健康

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|-------------|--|
| 主体的な健康の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・健康ラリー →アプリを使って得点(エコポイントなどとも合算) ・高齢者が立ち寄れる場所を回りながら運動や健康チェックができる仕組み(例：高浜市健康自生地) ・ポッチャで健康づくり |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・行政、商店などの事業所、商工会議所が中心となって、活用しやすいポイントの仕組みの開発（例：民間のLINEポイントの活用、現行のアイリスシールは普及していない）
- ・外出や運動、ボランティア、イベント、講座参加でポイントがたまり、店でポイントが利用できる仕組みとする

③ 高齢者福祉

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|----------------|---|
| 制度外の介護サービスの充実 | ・気楽に取り組める短時間のボランティアによるサービス提供 |
| 元気なシニアの活動の場づくり | ・刈谷版「盛人大学」、シニア大学 ・高齢者による農業ボランティア（例：大府市健耕サポーター） |
| 介護予防 | ・AI（AIスピーカーなど）を活用して、話し相手となり認知症を予防 |
| 最新技術の導入 | ・介護現場でロボット等の活用 ・見守りAIの活用、パワースーツ等の企業への支援 |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・高齢者の話し相手となる機器：企業が機器を開発、医療事業者が専門的な知見からのAIに覚えこませる

④ 障害児・者福祉

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|--------------|--------------------------|
| 障害のある方への理解促進 | ・認知症、障害のある方が働くカフェ |
| 障害者への理解教育 | ・小中学校での障害児、者との関わりの機会を設ける |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・福祉事業者・農家が連携して、農産物を活用した障害者が働くカフェの経営（農福連携）
- ・JA、子ども食堂、障害児、高齢者が連携し、みんなで協力して野菜作りを行い、収穫物をつかった子ども食堂を実施
- ・障害者、子ども、高齢者、行政、世代間交流により、障害のある方への理解を促進する

⑤ 共存・協働

【施策・事業アイデア】

| キーワード | 施策・事業アイデア |
|-----------------|---|
| 人材の発掘 ・マッチング | <ul style="list-style-type: none"> ・特技、ノウハウを持ちながら活かしていない市民を発掘、紹介 ・交流コーディネーターによるマッチング、相談 ・市民団体の交流会、ボランティア見本市の開催 |
| 施設の活用・ 情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館、学校など交流施設の稼働率UP（利用しやすく、利用制限をなくす） ・施設のweb予約&現状の可視化（既存アプリの活用） ・ヒト、モノ、場を簡単に調べられて連絡、予約などを1ストップ（情報共有アプリ）で可能にする |
| 交流・憩いの 場づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設に集客施設を併設して交流の場とする ・図書館におしゃれなカフェを併設（何か得した気分させる憩いの場） |
| 多文化共生 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を話せる人材を育成し、一人ひとりにあった支援を実施 ・多文化の交流イベント（食・文化(アニメなど) など、テーマを決めて集まる） ・外国人と防災訓練を実施 ・ゴミ出しルールなどを多言語表示 |
| 子どものキャリア 教育 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども経済圏（地域行事やボランティアでポイントが貯まり市内で使える等） |
| 市政参加 投票率アップ | <ul style="list-style-type: none"> ・市民会議のような出会いと話し合いの場の定期開催 ・刈谷版若者議会、刈谷版ママさん議会の開催 ・各層の代表者で投票率向上プロジェクト会議を継続的に開催 ・子ども用の投票箱を用意して親子で投票所に行く（子どもの頃から投票所に行く習慣を身につける） |

【協働の取組アイデア（市民や地域、NPO、事業所等に期待する役割・取組）】

- ・無償、有償ボランティアに関わらず、地域に貢献する活動に参加したら何らかの特典がある制度をつくる（LINEポイント等の民間のポイントが使えるとメリットとなる）
- ・図書館、公民館、文化センター、空き家レンタルなどの空き状況を横断的に検索できるシステムの整備し、利用率が低い各地域の公民館の利用率アップを図り、地域の収入増につなげる
- ・スキルのある人材マッチングのためのデータベース化とマッチング（マッチングを有料にしてビジネスとして成り立つようにすることが理想）
- ・個人のスキルを見せる体験教室（お試しの場）やスキルを見せるための見本市（分野別、ターゲット別に）の開催
- ・地域課題を解決する場に子どもが参加し、提案できる機会を設ける
- ・市全体でプレゼン大会の開催、学童（児童館）で子どもが考えたことを実施
- ・若者議会、ママさん議会を開催し、自分事として市政に参加する風土作り（名古屋市、新城市で若者会議を実施）
- ・各主体が集結し、各分野のアイデア、意見集約、統合させるプロジェクト会議を常設し、自分事として活動する場をつくる

Ⅲ 協働のまちづくりアイデア及びプロジェクト提案

主に第5回会議の成果より

1. 議論の経過

最終回となる第5回では、第3・4回で検討した「今後10年の具体的な施策・事業」や「協働事業」の議論を踏まえて、参加者自身がまちづくりのために何ができるのか、何をしたいのかを考え、参加者同士で意見交換を行いました。

まず、今後の刈谷のまちづくりを推進するために、「10年における理想のまちの姿・暮らしの一場面」と「その夢の実現にむけて“私はこんなこと やってみたい”」という視点で、個人単位で協働のまちづくりのアイデアを提案してもらいました（→「2. 私発！協働のまちづくりアイデア」）。

次に、個人で考えたアイデアを全員で発表しました。その内容を踏まえて、参加者の中から関連するアイデアを持っている人などが3～4人一組でグループをつくりました。そして、みんなのアイデアを活かして、一緒にチャレンジしてみたい具体的な取組を「協働プロジェクト」として検討してもらい、計7つの提案を頂きました（→「3. 協働プロジェクト提案」）。

全5回を通じて、まちづくりについて理解を深めるとともに、参加者同士の交流を図っていただき、これからのまちづくり活動への参加や実践のきっかけになれば幸いです。

2. 私発！協働のまちづくりアイデア

| 分野 | 基本 施策 | この10年で“刈谷がこんなふうになるといいなあ・したいなあ” | その夢の実現にむけて “私は こんなこと やってみたい” |
|----------|---------------|--------------------------------|---------------------------------------|
| 都市 基盤 | 公園緑化 | 公園中央部の砂地を常緑広葉樹の木陰にかえる | 公園で林業体験。植林をしてみよう |
| | 道路 ・ 交通 | まちなかの渋滞対策 | 積極的な自動車利用の抑制、歩く、自転車、バス、電車 |
| | | 公共交通が充実した便利なまち | 知る、使う、誘う、提案する |
| | | 市内公共交通を多くの人が利用 | 経済学、統計学的な分析を行う、情報交換、情報発信 |
| 教育 文化 | 学校教育 | 学校と地域が連携した教育づくり | 学校と地域が交流できる地域密着型の授業づくり |
| | 生涯 学習 | 得意なことしたいこと充実人生 | 中学校部活・キャリアラボ、行政発信イベントからサークル化 |
| | | 元気なシニアが学びながら仲間づくり | 行政に働きかけて刈谷版盛人大学を実現 |
| | | 文化交流・発信の仕組みづくり | FBなどSNSの活用によりWS情報を発信（WS講師・受講者へ）（多国籍化） |
| | | 10年後の自分の会社を変える人づくり | ものづくりの原点、「ムダと仕事」を現場で実践 |
| | | 働く人と住民とのコラボ | 得意なことを発揮・学ぶ、体験の場づくり（食事つき） |

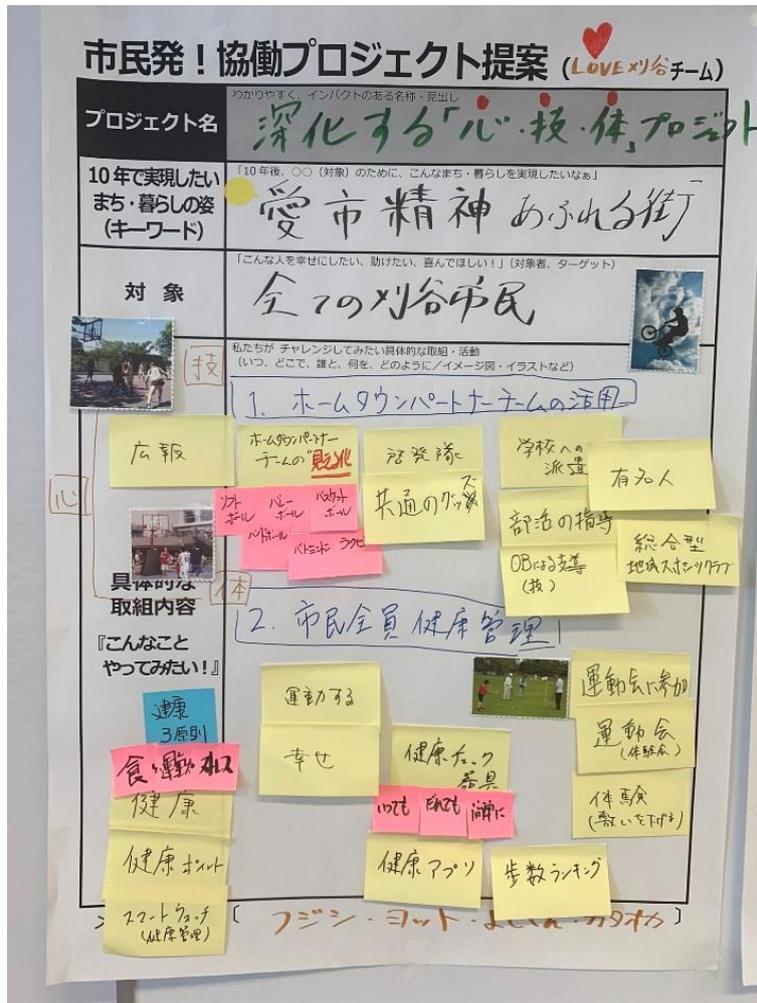
| | | | |
|-----------------|---------|---------------------------|--|
| 教育文化 | 生涯学習 | 気軽に「学び」や「ものづくり」ができる | 出身の愛教大に協力を呼びかける、地元のハイウェイオアシスとトヨタをつなぐ |
| | | 子供も大人も楽しく遊んだり学べたりする | 子供、友達、会社の人に「こんな場所があるよ、こんなことがあるよ」と一緒に楽しむ |
| | 歴史文化・観光 | 刈谷市の唯一無二の価値創造 | 企業スポーツ、HWO 等既存の資源を生かす、刈谷の特徴データ分析→公表→イメージ作り |
| 産業環境安全 | 農業 | 気軽に農福連携 | 遊休農地を活用して、高齢者・ボランティア等で野菜や花づくり→みんなで分け合う |
| | 防災 | みんなで自主的に助けあい | 防災意識を高めよう。子どもたちが活躍 |
| 文明の利器がなくてもたくましく | | 家で電気ガスは使わない日をつくる、宿泊型訓練の実施 | |
| 福祉協働 | 共存・協働 | 地域コミュニティを広げる | 共通の趣味を持った人同士の活動の場 |
| | | 多文化共生の意識があるまち | 外国人との防災訓練のボランティア |
| | | 地元を支える若者が活動出来る場 | 地域の行事に若い世代が活躍出来る場所を作りたい |
| | | 人と人が織りなす地域の絆 | 地域（学区）全体での見守り活動（子ども、老人だけでなく障害者、外国人も）公共施設（公民館・学校など）の開放（集いの場づくり） |
| | 健康 | スポーツが生活の一部に | ホームタウンパートナーチームを知ってもらい、市民全体で応援したい |
| | | 長生きできるまち | 運動・食事・体重の街丸ごと管理（ライザップ的な） |
| | 子育て | 子どもの「やってみたい」を後押しするまち | 「かりやマーブルタウン」の継続開催 |
| | 生活支援 | みんな役割を持っていきいきと輝く | 日本全国の家庭・自家菜園・プランターの家をつなげる。子どもも食で生きる力を伝える |
| | | 市民、子ども、障害者がイキイキワクワク過ごせるまち | 無農薬野菜栽培、地元特産物→レストラン、通販（高社）障害者、雇用、子ども食堂、地元住民雇用 |



3. 協働プロジェクト提案

■ LOVE 刈谷チーム

| 深化する「心・技・体」プロジェクト | |
|-----------------------|---|
| 10年で実現したいまち・暮らしの姿 | 愛市精神あふれる街 |
| 対象 | 全ての刈谷市民 |
| 私たちがチャレンジしたい具体的な取組・活動 | <p>1.ホームタウンパートナーチームの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームタウンパートナーチームの見える化（ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、バドミントン、ラグビー） 協働啓発隊、共通のグッズ作成 学校や総合型地域スポーツクラブへの派遣：部活の指導、OBによる指導（技） <p>2.市民全員健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動する幸せ（体験会（敷居を下げる）、運動会に参加、歩数ランキング） 健康チェック器具や健康アプリの導入（いつでも、だれでも、簡単に） 健康3原則（食、運動、ストレス）の啓発 健康ポイントやスマートウォッチによる健康管理 |
| 関連する基本施策 | スポーツ、学校教育、健康 |



■絆チーム

| 地域の絆づくり事業 | |
|-------------------------------|---|
| 10年で実現したい まち・暮らしの姿 | 人と人が織りなす地域の絆 |
| 対 象 | 子ども、大人、老人、外国人、親子、ママ友、パパ友 |
| 私たちが チャレンジしたい 具体的な取組・活動 | 若者世代の活躍と、「またやろうね」と継続する活動を ・みんなでアウトドア体験（防災訓練とのコラボも） ・地区と学校の合同運動会（若者世代の活躍） ・地域再発見ウォークラリー ・野外体験 ・地区と学校が連携した防災訓練 |
| 関連する基本施策 | 防災、学校教育、生涯学習・青少年育成、共存・協働 |

市民発！協働プロジェクト提案 **絆** チーム)

プロジェクト名 **地域の絆づくり事業**

10年で実現したいまち・暮らしの姿 (キーワード) **人と人が織りなす地域の絆**

対 象 子供 大人 老人 外国人 親子 ママ友 パパ友

具体的な取組内容 『こんなことやってみたい!』

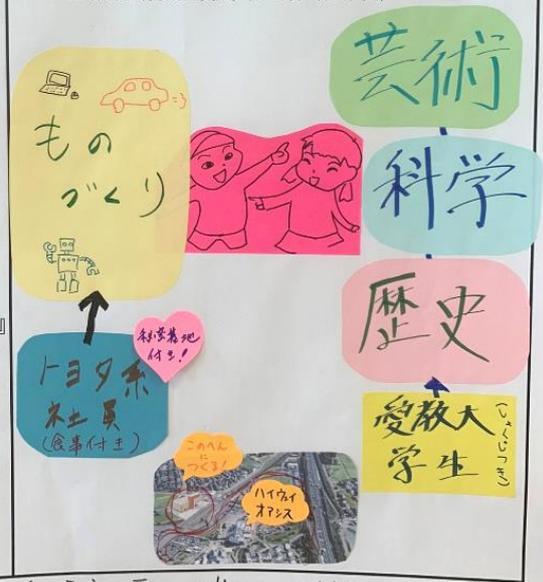
みんなが アウトドア体験 (防災訓練とのコラボも) 地区と学校の 合同運動会 若者世代の 活躍 地域再発見 ウォークラリー 野外体験 継続 地区と学校が 連携した防災 訓練 地区 仲間 自分

メンバー氏名 杉浦晴久 深谷充裕 神谷友理

■ 体験を学ぶチーム

| 体験とモノづくりのテーマパーク「アソビマナビパークVIVA刈谷」 | |
|----------------------------------|--|
| 10年で実現したい まち・暮らしの姿 | 将来、国内外で活躍している人は子どものころに「ここでの体験を経験していた」 |
| 対象 | 子ども |
| 私たちが チャレンジしたい 具体的な取組・活動 | 愛教大学生（食事つき） → 芸術、科学、歴史 トヨタ系社員（食事つき） → ものづくり（秘密基地） |
| 関連する基本施策 | 商工業、歴史文化・観光、学校教育 |

市民発！協働プロジェクト提案 (体験を学ぶチーム)

| | |
|--|--|
| プロジェクト名 | わかりやすく、インパクトのある名称・見出し 体験とモノづくりのテーマパーク アソビマナビパークVIVA刈谷 |
| 10年で実現したい まち・暮らしの姿 (キーワード) | 「10年後、〇〇(対象)のために、こんなまち・暮らしを実現したいなあ」 将来、国内外で活躍している人は 子供の頃に「ここでの体験を経験していた」 |
| 対象 | 「こんな人を幸せにしたい、助けたい、喜んでほしい！」(対象者、ターゲット) 子供 |
| 具体的な 取組内容 『こんなこと やってみたい!』 | 私たちがチャレンジしてみたい具体的な取組・活動 (いつ、どこで、誰と、何を、どのように/イメージ図・イラストなど)  |
| メンバー氏名 | 「こう・ジィン・畑山、いしこー」 |

■木曾チーム

| 盛人大学の発足 | |
|-----------------------|---|
| 10年で実現したいまち・暮らしの姿 | 市民による持続可能な生涯学習の場づくり |
| 対象 | コミュニティを広げたい人、得意なことを広めたい人・学びたい人 |
| 私たちがチャレンジしたい具体的な取組・活動 | 生涯学習の情報・人材データの共有化：「あいかり」で管理→発信 【例えばこんな生涯学習】 市民講師・講座／文化協会／発明クラブ／ボランティアセンター／スポーツクラブ／国際交流協会／キッズクラブ／ウイングアリーナ刈谷教室／外国語教室 ソフトボール協会／青年講座／レディースカレッジ公開講座／少年野球／1day講座／地域のサークル |
| 関連する基本施策 | 生涯学習・青少年育成、歴史文化・観光、スポーツ、共存・協働 |

市民発！協働プロジェクト提案 (木曾 チーム)

わかりやすく、インパクトのある名称・見出し

プロジェクト名 盛人大学の発足

10年で実現したいまち・暮らしの姿 (キーワード) 市民による持続可能な生涯学習の場づくり

対象 「こんな人を幸せにしたい、助けたい、喜んでほしい！」(対象者、ターゲット)
コミュニティを広げたい人
得意なことを広めたい人・学びたい人

私たちがチャレンジしてみたい具体的な取組・活動 (いつ、どこで、誰と、何を、どのように) イメージ図・イラストなど

例)

| | | | | | |
|--------|--------------|-----------|------------|---------|---------------|
| 市民講師講座 | 文化協会 | 発明クラブ | ボランティアセンター | スポーツクラブ | 国際交流協会 |
| キッズクラブ | ウイングアリーナ刈谷教室 | 外国語教室 | ソフトボール協会 | 青年講座 | レディースカレッジ公開講座 |
| 少年野球 | 1day講座 | 地域のソフトボール | | | |

『こんなことやってみたい!!』

「あいかり」で管理→発信

生涯学習の情報共有 (-元化)

人材データの情報共有

メンバー氏名 (伊田 岡 東林 齋藤)

■公共交通チーム

| かりまる改造 Project | |
|-----------------------|---|
| 10年で実現したいまち・暮らしの姿 | 公共バスの充実が市民の暮らしを支える |
| 対象 | 高齢者～若者～子どもまで全ての人 |
| 私たちがチャレンジしたい具体的な取組・活動 | <p>「道の駅型のP&R」「企業バス」「ピーク・ロイド・プライシング」(バス利用の時間的・季節的なピーク時に、特別な差別料金を取る)</p> <p><u>主な目的</u></p> <p>渋滞対策、交通弱者の移動支援、利便性の向上、まちなかの活性化、環境対策、地域コミュニティ、健康増進</p> <p><u>知る・使う・誘う・提案するためにやること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティバスの議論、運営 ・実際に公共交通を使う、利用を呼びかける、計量的な分析を行う ・企業を巻き込む |
| 関連する基本施策 | 道路・交通、市街地・住環境、環境保全、健康 |

市民発！協働プロジェクト提案 (公共交通チーム)

わかりやすく、インパクトのある名称・見出し

プロジェクト名 かりまる改造 Project

10年で実現したいまち・暮らしの姿 (キーワード) 公共バスの充実が市民の暮らしを支える

対象 高齢者～若者～子どもまで全ての人

私たちがチャレンジしてみたい具体的な取組・活動 (いつ、どこで、誰と、何を、どのように/イメージ図・イラストなど)

具体的な取組内容

『こんなことやってみたい』

- 公共交通
- バス
- 地域交通
- 地域コミュニティ
- 報館
- 幹線道路
- 道の駅型のP&R
- 企業バス
- ピーク・ロイド・プライシング (P&R)

主な目的

- ・渋滞対策
- ・交通弱者の移動支援
- ・利便性の向上
- ・まちなかの活性化
- ・環境対策
- ・地域コミュニティ
- ・健康増進

知る・使う・誘う・提案

- ・地域コミュニティバスの議論・運営
- ・実際に公共交通を使う・利用を呼びかける
- ・計量的な分析を行う
- ・企業を巻き込む

メンバー氏名 梶本高浩、(服部徹)

■ 防災促進チーム

| 学校に泊まる | |
|-----------------------|---|
| 10年で実現したいまち・暮らしの姿 | いつ、災害があっても大丈夫 |
| 対象 | 子どもと親、外国人、そして、地域の人 |
| 私たちがチャレンジしたい具体的な取組・活動 | <p>「宿泊型訓練」(水や電気のない暮らし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝方法：子どもが地域にチラシ配り、外国人世帯の参加を呼び掛ける ・楽しい仕掛け：キャンプファイヤー、肝試しなど ・訓練としてのリアリティーを：車中泊ok、非常食を食べる |
| 関連する基本施策 | 防災、共存・協働 |

市民発！

プロジェクト名 **学校に泊まる~** (防災促進チーム)

10年で実現したいまち・暮らしの姿 (キーワード) 「10年後、〇〇(対象)のために、こんなまち・暮らしを実現したいなあ」
いつ、災害があっても大丈夫!

対象 「こんな人を幸せにしたい、助けたい、喜んでほしい！」(対象者、ターゲット)
子どもと親 外国人 地域の人

私たちがチャレンジしてみたい具体的な取組・活動 (いつ、どこで、誰と、何を、どのように/イメージ画・イラストなど)

具体的な取組内容 『こんなことやってみたい!』

宿泊型訓練
 水や電気のない暮らし
 宣伝方法：子どもが地域にチラシ配り (外国人世帯の参加)
 楽しい仕掛け：キャンプファイヤー、肝試し (体験活動)
 リアリティー：車中泊OK、非常食を食べる
 新聞スリッパを作ろう!

メンバー氏名 (まあー・せり・ゆり)

■食と農チーム

| 刈谷で農業の輪・和 | |
|-----------------------|---|
| 10年で実現したいまち・暮らしの姿 | 役割をもってイキイキワクワク |
| 対象 | 親世代、親と子、高齢者、障害者、市民 |
| 私たちがチャレンジしたい具体的な取組・活動 | <p>食と農を中心に家庭・学校・外国人・福祉・障害者・子どもが、みんな元気に関わる。</p> <p>～地産地消～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の特産物 ・レストラン・子ども食堂 ・こだわりマルシェ ・畑でBBQ ・給食にも安心安全野菜 <p>～自給自食～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無農薬野菜の家庭・自家プランター菜園 <p>～農業の場～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業マップ ・販路・畑（遊休農地活） ・公園で林業体験 |
| 関連する基本施策 | 農業、障害児・者福祉、地域福祉、学校教育、公園・緑化 |

市民発！協働プロジェクト提案（食と農チーム）

わかりやすく、インパクトのある名称・見出し

プロジェクト名 刈谷で農業の輪・和

「10年後、〇〇（対象）のために、こんなまち・暮らしを実現したいなあ」

10年で実現したいまち・暮らしの姿（キーワード） 役割を持ってイキイキワクワク！

対象 親世代、親と子、高齢者、障害者、市民

具体的な取組内容 『こんなことやってみたい！』

私たちがチャレンジしてみたい具体的な取組・活動（いつ、どこで、誰と、何を、どのようにイメージ図・イラストなど）

～地産地消～

- *地元の特産物
- *レストラン・子ども食堂
- *こだわりマルシェ
- *畑でBBQ
- *給食にも安心安全野菜

～自給自食～

- *無農薬野菜の家庭・自家プランター菜園

～農業の場～

- *農業マップ
- *販路・畑（遊休農地活）
- *公園で林業体験

メンバー氏名〔坂口、神谷、西坂、安部〕